

人文社会科学特別科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
人文社会科学特別科目	災禍の人文社会科学	2	浅岡 善治、他	前期 木曜日1講時	

科目名：人文社会科学特別科目／ Humanities and Social Sciences (Special Course)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：第 1 学期 単位数：2

担当教員：浅岡 善治

コード：LD14101, 科目ナンバリング：LAL-0AR701J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：災禍の人文社会科学

2. Course Title (授業題目)：Humanities and Social Sciences on Disasters

3. 授業の目的と概要： この授業は、文学研究科の博士後期課程の学生を対象として、人文社会科学の幅広い視野を提供する。研究者として専門を深く掘り下げるために必要な広範な教養を体得してもらうこと、あるいは高度な専門性を具えた職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養することを目指して、文学研究科の日本学専攻・広域文化学専攻・総合人間学専攻の教員が、それぞれの専門的な知見に基づいて、オムニバス形式で講義を提供する。

本年度は「災禍」を共通テーマに据え、大震災のような自然災害だけでなく、コロナ禍のような疫病を含めた広義の災禍について、人文社会科学の多角的な観点から学ぶ。講義はすべてオンライン形式による。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to provide doctoral students of the Graduate School of Arts and Letters with a broad range of academic knowledge in the humanities and social sciences. The purpose is to provide students with the broad background necessary to carry out exploratory research as researchers, or to cultivate the bird's-eye view required of highly specialized professionals. In order to achieve these aims, lectures are given in an omnibus format by faculty members from the Department of Japanese Studies, the Department of Global Humanities, and the Department of Integrated Human Sciences in the Graduate School of Arts and Letters.

This semester, the common theme is "Disasters". We will discuss disasters in a broad sense (including not only natural disasters such as the Great East Japan Earthquake, but also epidemics such as Covid-19) from multiple perspectives in the humanities and social sciences. The lectures will be given in an online format.

5. 学習の到達目標：(1) 人文社会科学の幅広い視野を学び、研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な教養を身につける。

(2) 深く広い知識をもとに、高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) To acquire the broad background necessary to carry out exploratory research as researchers,

(2) To have the bird's-eye view required of highly specialized professionals.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 籠橋俊光「災禍の史料学」(4月13日)
2. 片岡龍「災禍と『戦後』」(4月20日)
3. 田中重人「災禍における政治と専門知」(4月27日)
4. 中西太郎「災害と言葉」(5月11日)
5. 仁平政人「災禍の日本文学」(5月18日)
6. 浅岡善治「1932-33年ソ連大飢饉と『ホロドモール』論」(5月25日)
7. 越智郁乃「墓とモニュメント：災禍の弔いと記憶の人類学」(6月1日)
8. 木村敏明「災禍の儀礼論」(6月8日)
9. 谷山洋三「震災、水害、コロナ禍での宗教者の支援活動」(6月15日)
10. 西村直子「災厄と呪法、または世界の更新」(6月22日)
11. 足達薫「ルネサンス美術における災禍のイメージ」(6月29日)
12. 阿部恒之「災害心理学：災害文化と創発規範」(7月6日)
13. 大森美香「パンデミックと心理学」(7月13日)
14. 城戸淳「災禍の哲学——リスボン大震災と最善観」(7月20日)
15. 小松丈晃「災禍の社会学」(7月27日)

*本授業は、特にガイダンス回を設けていません。授業の進め方の仔細はClassroomのトップに掲示しますので、そちらを参照願います

8. 成績評価方法：

各回の小課題(コメント)による

9. 教科書および参考書：

各講義中に紹介する

10. 授業時間外学習：講義を踏まえて、紹介された参考文献などに触れ、発展的な理解を得るように努める。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：